

ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド

運用報告書(全体版) 第3期

(決算日 2026年6月16日)

(作成対象期間 2025年12月17日～2026年6月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2025年1月31日～2046年6月15日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ギフトシティ（インド）籍の外国投資信託「アンビット・インド・アセンション・ファンド（クラスA）」の受益証券（円建） ロ. 別に定める上場投資信託証券（ETF） ハ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの小型株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

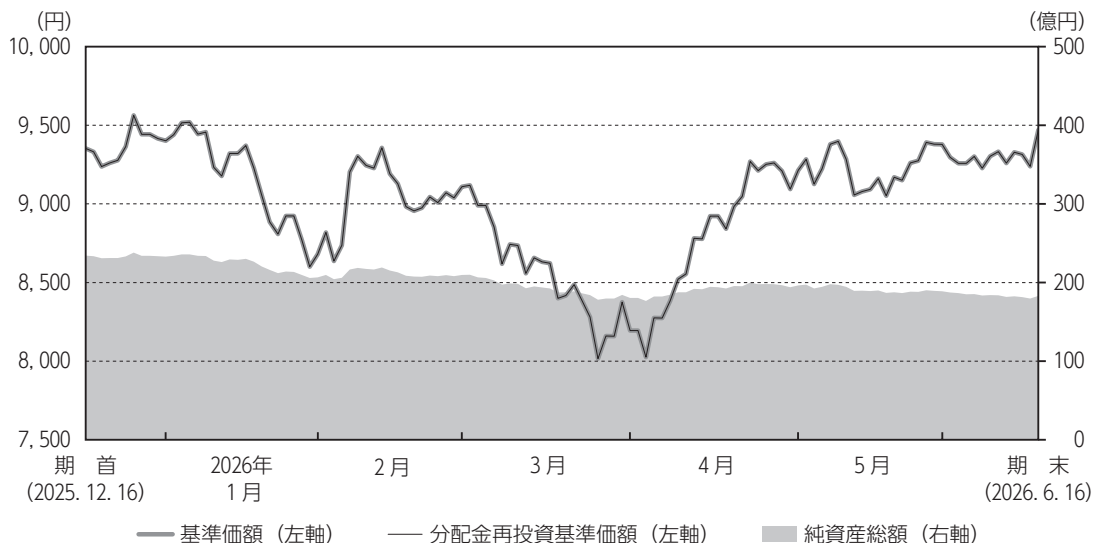
決 算 期	基 準 価 額			M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資証券 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2025年 6 月16日)	9,714	0	△ 2.9	10,084	0.8	0.0	97.9	27,172
2 期末 (2025年12月16日)	9,353	0	△ 3.7	10,783	6.9	0.0	97.5	23,413
3 期末 (2026年 6 月16日)	9,469	0	1.2	9,906	△ 8.1	0.0	97.3	18,303

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、M S C I インド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I インド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) は、M S C I が開発した指数です。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]
- (注 3) 海外の指数は原則現地 2 営業日前の終値、為替レートは日本の前営業日の対顧客直物電信売買相場の仲値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,353円

期末：9,469円（分配金 0 円）

騰落率：1.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

インドの小型株に投資を行った結果、インド・ルピーが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となったものの、インド小型株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年12月16日	円 9,353	% —	10,783	% —	% 0.0	% 97.5
12月末	9,402	0.5	10,927	1.3	0.0	98.0
2026年 1 月末	8,680	△ 7.2	10,183	△ 5.6	0.0	97.4
2 月末	9,109	△ 2.6	10,604	△ 1.7	0.0	98.5
3 月末	8,194	△ 12.4	9,362	△ 13.2	0.0	97.4
4 月末	9,213	△ 1.5	10,055	△ 6.8	0.0	97.7
5 月末	9,379	0.3	9,972	△ 7.5	0.0	98.0
(期末) 2026年 6 月16日	9,469	1.2	9,906	△ 8.1	0.0	97.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 12. 17 ~ 2026. 6. 16)

■インド株式市況

インド小型株式市況は上昇しました。

インド小型株式市況は、当作成期首から2026年1月末にかけて、市場予想を下回る決算を発表した小型株が見られたことで投資家心理が悪化し、軟調に推移しました。2月上旬には、印米通商交渉の合意や、2026年度国家予算の発表を受けて政府支援期待が高まり、一時下落幅を縮小しました。しかし3月末にかけて、2月末の米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃以降、地政学リスクの高まりや原油価格の上昇による世界経済への悪影響が懸念され、下落しました。4月上旬から当作成期末にかけては、米国とイランの停戦協議の進展がみられ、投資家心理が回復し、反発しました。

■為替相場

インド・ルピー対円為替相場は下落（円高）しました。

インド・ルピー対円為替相場は、当作成期首から2026年1月末にかけて、印米通商交渉の停滞感や日銀のレートチェック報道を背景に、下落しました。3月末にかけては、印米通商交渉の合意を受けて上昇（円安）する場面も見られましたが、中東情勢の緊迫化や原油価格の上昇を受けたりスク回避の動きが強まったことで、上値の重い展開となりました。4月以降も、原油価格の高止まりが嫌気されたことに加え、日銀による為替介入などを受けて、ルピーは軟調に推移しましたが、5月下旬以降当作成期末にかけては、原油価格の下落やインド中銀のルピー支援策などから、上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、「アンビット・インド・アセンション・ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。「アンビット・インド・アセンション・ファンド」の買付け等に支障がある場合、インドの株式を対象としたETF（上場投資信託証券）に投資を行う場合があります。また、「アンビット・インド・アセンション・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※アンビット・インド・アセンション・ファンド：アンビット・インド・アセンション・ファンド（クラスA）

■アンビット・インド・アセンション・ファンド

インドの小型企業の株式の中から、「事業投資の効率性」や「財務およびコーポレートガバナンスの質」に着目したアンビット独自のフレームワークに基づき、成長の可能性が高く、リスクの低い効率的な企業を選定し、さらに従業員や消費者、競合他社に関する情報など、企業に関わる定性的な情報を収集して加味することで、銘柄を絞り込み投資します。セクター別では、製造業の振興政策などから恩恵を受ける資本財・サービスセクター、消費拡大の追い風を受ける一般消費財・サービスセクターなどを中心にポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 12. 17 ~ 2026. 6. 16)

■当ファンド

当ファンドは「アンビット・インド・アセンション・ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「アンビット・インド・アセンション・ファンド」への投資割合は、信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることをめざしました。

■アンビット・インド・アセンション・ファンド

インドの小型企業の株式の中から、「事業投資の効率性」や「財務およびコーポレートガバナンスの質」に着目したアンビット独自のフレームワークに基づき、成長の可能性が高く、リスクの低い効率的な企業を選定し、さらに従業員や消費者、競合他社に関する情報など、企業に関わる定性的な情報を収集して加味することで、銘柄を絞り込み投資しました。

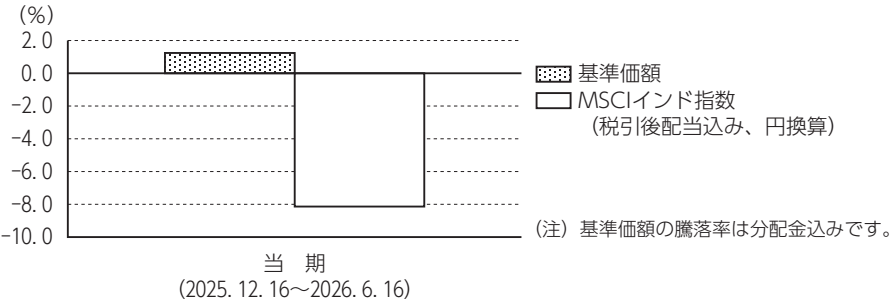
個別銘柄では、THANGA MAYIL JEWELLERY LTD（一般消費財・サービス）や MULTI COMMODITY EXCHANGE OF INDIA LTD（金融）などがプラスに寄与しました。一方で、ORCHID PHARMA LTD（ヘルスケア）や MRS BECTORS FOOD SPECIALITIES LTD（生活必需品）などがマイナス要因となりました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額であったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年12月17日 ～2026年 6月16日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	0

- (注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「アンビット・インド・アセンション・ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。「アンビット・インド・アセンション・ファンド」の買付け等に支障がある場合、インドの株式を対象としたE T F（上場投資信託証券）に投資を行う場合があります。また、「アンビット・インド・アセンション・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アンビット・インド・アセンション・ファンド

インドの小型企業の株式の中から、「事業投資の効率性」や「財務およびコーポレートガバナンスの質」に着目したアンビット独自のフレームワークに基づき、成長の可能性が高く、リスクの低い効率的な企業を選定し、さらに従業員や消費者、競合他社に関する情報など、企業に関わる定性的な情報を収集して加味することで、銘柄を絞り込み投資します。セクター別では、製造業の振興政策などから恩恵を受ける資本財・サービスセクター、消費拡大の追い風を受ける一般消費財・サービスセクターなどを中心にポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 12. 17～2026. 6. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0. 617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 013円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0. 411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0. 621	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

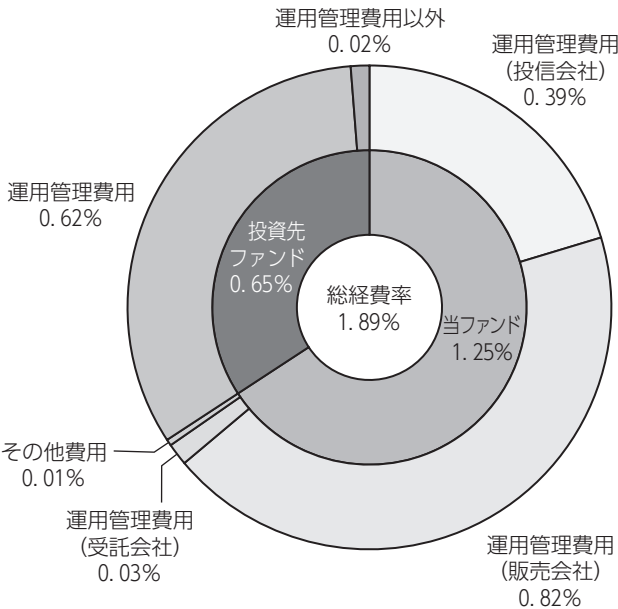
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.89%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

- (注 1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注 3) 投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、所得税を含みません。
- (注 4) 投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、インドにおける非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税が含まれる場合があります。
- (注 5) 各比率は、年率換算した値です。
- (注 6) ①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注 7) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注 8) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注 9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2025年12月17日から2026年 6月16日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	AMBIT INDIA ASCENSION FUND CLASS A (インド)	—	—	56,496.0977502	5,170,058

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (インド) AMBIT INDIA ASCENSION FUND CLASS A	185,377.0210297	17,814,064	97.3

(注 1) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	17,814,064	95.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	818,009	4.4
投資信託財産総額	18,632,074	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 6月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,855,785,970円
コール・ローン等	594,298,230
投資信託受益証券 (評価額)	17,814,064,364
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	1,007
未収入金	447,422,369
(B) 負債	552,342,839
未払金	223,711,185
未払解約金	202,328,674
未払信託報酬	125,466,621
その他未払費用	836,359
(C) 純資産総額 (A－B)	18,303,443,131
元本	19,330,394,046
次期繰越損益金	△ 1,026,950,915
(D) 受益権総口数	19,330,394,046口
1万口当り基準価額 (C／D)	9,469円

* 期首における元本額は25,034,313,858円、当作成期間中における追加設定元本額は187,908,486円、同解約元本額は5,891,828,298円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,469円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,026,950,915円です。

■損益の状況

当期 自 2025年12月17日 至 2026年 6 月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,044,768円
受取利息	2,044,768
(B) 有価証券売買損益	354,306,599
売買益	486,193,286
売買損	△ 131,886,687
(C) 信託報酬等	△ 126,302,980
(D) 当期損益金 (A + B + C)	230,048,387
(E) 前期繰越損益金	△ 1,145,234,933
(F) 追加信託差損益金	△ 111,764,369
(売買損益相当額)	(△ 111,764,369)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,026,950,915
次期繰越損益金 (G)	△ 1,026,950,915
追加信託差損益金	△ 111,764,369
(売買損益相当額)	(△ 111,764,369)
分配準備積立金	1,324,841
繰越損益金	△ 916,511,387

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,324,841円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,324,841
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,324,841
(h) 受益権総口数	19,330,394,046口

アンビット・インド・アセンション・ファンド

当ファンド（ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド）は、ギフトシティ（インド）籍の外国投資信託「アンビット・インド・アセンション・ファンド（クラス A）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表
(2025年 3 月31日現在)

	(円)
資産	
金融資産	
a) 現金および現金同等物	340, 725, 318
b) 投資資産	24, 714, 130, 508
非金融資産	
当期税金資産（純額）	1, 216, 874
資産合計	25, 056, 072, 700
負債	
金融負債	
中小企業以外の債権者に対する未払金合計	26, 621, 782
負債合計	26, 621, 782
純資産	
a) 投資証券保有者に帰属する純資産	26, 534, 275, 593
b) その他純資産	(1, 504, 824, 675)
純資産合計	25, 029, 450, 918
純資産および負債合計	25, 056, 072, 700

損益計算書

(対象期間：2025年 1 月31日から2025年 3 月31日まで)

	(円)
営業収益	
公正価値の変動による純損益	(1, 128, 031, 696)
外国為替取引による純損益	(346, 199, 325)
その他収益	16, 098, 426
収益合計	(1, 458, 132, 595)
費用	
運用管理報酬	23, 772, 700
その他のスキーム費用	27, 868, 995
費用合計	51, 641, 695
税引前損失	(1, 509, 774, 290)
法人税費用	
- 当期税額	2, 556, 932
税費用合計	2, 556, 932
当期損失	(1, 512, 331, 222)
包括利益合計	(1, 512, 331, 222)

2025年 3 月31日現在の投資明細表

数量	銘柄明細	評価額 (円)	株式ポートフォリオ に占める割合 (%)
	株式		
272, 345	NARAYANA HRUDAYALAYA LTD	812, 020, 013	3. 43
224, 746	ROSSARI BIOTECH LTD	239, 458, 447	1. 01
378, 731	AEGIS LOGISTICS LTD	537, 531, 073	2. 27
629, 748	PCBL CHEMICAL LTD	469, 786, 460	1. 99
122, 065	MASTEK LTD	469, 149, 030	1. 98
158, 992	NEOGEN CHEMICALS LTD	432, 388, 199	1. 83
300, 175	SUVEN PHARMACEUTICALS LTD	608, 813, 084	2. 57
227, 064	PEARL GLOBAL INDUSTRIES LTD	527, 448, 666	2. 23
129, 691	RADICO KHAITAN LTD	555, 088, 907	2. 35
201, 860	GARWARE TECHNICAL FIBRES LTD	307, 574, 171	1. 30
316, 957	MRS BECTORS FOOD SPECIALITIES LTD	816, 213, 145	3. 45
188, 484	HOME FIRST FINANCE CO INDIA LTD	336, 830, 042	1. 42
53, 058	CRAFTSMAN AUTOMATION LTD	455, 999, 618	1. 93
720, 838	KRISHNA INSTITUTE OF MEDICAL SCIENCES LTD	812, 419, 356	3. 44
330, 163	ALIVUS LIFE SCIENCES LTD	628, 996, 877	2. 66
70, 581	TIMKEN INDIA LTD	342, 103, 309	1. 45
689, 104	ARVIND LTD	382, 680, 398	1. 62
164, 663	PRUDENT CORPORATE ADVISORY SERVICES LTD	677, 961, 820	2. 87
322, 538	VENUS PIPES AND TUBES LTD	686, 139, 208	2. 90
1, 324, 424	ELECTRONICS MART INDIA LTD	283, 905, 162	1. 20
248, 000	KFIN TECHNOLOGIES LTD	449, 939, 736	1. 90
156, 392	CONCORD BIOTECH LTD	463, 140, 784	1. 96
113, 514	ALKYL AMINES CHEMICALS LTD	323, 669, 919	1. 37
269, 535	ENTERO HEALTHCARE SOLUTIONS LTD	540, 019, 903	2. 28
561, 327	SONATA SOFTWARE LTD	341, 939, 637	1. 45
376, 248	AWFIS SPACE SOLUTIONS LTD	439, 298, 546	1. 86
1, 022, 482	INTERNATIONAL GEMMOLOGICAL INSTITUTE INDIA LTD	694, 026, 549	2. 93
110, 582	THANGAMAYIL JEWELLERY LTD	391, 392, 080	1. 66
245, 132	KRN HEAT EXCHANGER AND REFRIGERATION LTD	376, 531, 391	1. 59
214, 374	ORCHID PHARMA LTD	293, 172, 972	1. 24
460, 675	TIPS MUSIC LTD	513, 236, 597	2. 17
390, 511	MINDA CORPORATION LTD	371, 105, 872	1. 57
348, 530	CENTURY PLYBOARDS (INDIA) LTD	435, 401, 486	1. 84
528, 446	CCL PRODUCTS (INDIA) LTD	516, 806, 220	2. 19
72, 434	V-MART RETAIL LTD	371, 519, 411	1. 57
343, 992	TECHNO ELECTRIC & ENGINEERING CO LTD	608, 092, 995	2. 57
1, 071, 353	EPL LTD	380, 797, 557	1. 61
412, 176	CHAMBAL FERTILIZERS AND CHEMICALS LTD	454, 301, 477	1. 92
577, 283	NCC LTD	213, 091, 177	0. 90
777, 554	JYOTHY LABS LTD	450, 364, 757	1. 90
32, 647	ZF COMMERCIAL VEHICLE CONTROL SYSTEMS INDIA LTD	747, 489, 739	3. 16

ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド

数量	銘柄明細	評価額 (円)	株式ポートフォリオ に占める割合 (%)
124,964	TEAMLEASE SERVICES LTD	398,618,645	1.69
545,708	V-GUARD INDUSTRIES LTD	341,896,880	1.45
151,734	CENTRAL DEPOSITORY SERVICES (INDIA) LTD	326,208,047	1.38
1,151,791	V. I. P. INDUSTRIES LTD	567,675,670	2.40
112,480	AFFLE INDIA LTD	318,818,862	1.35
101,505	CREDITACCESS GRAMEEN LTD	170,269,048	0.72
168,461	ADITYA BIRLA REAL ESTATE LTD	581,791,566	2.46
58,844	MULTI COMMODITY EXCHANGE OF INDIA LTD	550,774,655	2.33
647,181	PRAJ INDUSTRIES LTD	632,754,851	2.68
	株式合計	23,646,654,014	100.00

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2025年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2026年6月16日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年12月17日から2026年6月16日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
1364国庫短期証券 2026/5/25	千円 16,069,635		千円
1383国庫短期証券 2026/8/24	13,270,912		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年6月16日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（21,329,729千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2026年6月16日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 13,300,000	千円 13,277,944	% 60.8	% —	% —	% —	% 60.8

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2026年6月16日現在					
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1383国庫短期証券	% —	千円 13,300,000	千円 13,277,944	2026/08/24

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第21期（決算日 2025年12月9日）

（作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

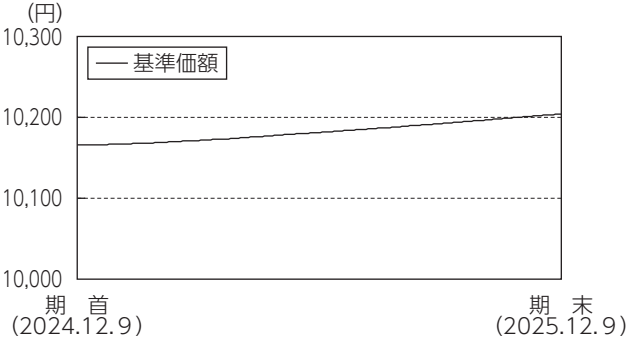
運 用 方 針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨表示の公社債
株 式 組 入 制 限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2024年12月9日	10,166	—	59.0
12月末	10,166	0.0	57.5
2025年1月末	10,168	0.0	55.9
2月末	10,170	0.0	59.7
3月末	10,173	0.1	60.0
4月末	10,176	0.1	61.8
5月末	10,180	0.1	52.0
6月末	10,184	0.2	60.0
7月末	10,187	0.2	57.7
8月末	10,191	0.2	59.8
9月末	10,195	0.3	55.1
10月末	10,199	0.3	51.8
11月末	10,203	0.4	58.2
(期末)2025年12月9日	10,204	0.4	61.1

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,166円 期末：10,204円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		78,231,674	— (71,400,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1344国庫短期証券 2026/2/24	15,980,819		
1306国庫短期証券 2025/8/18	13,492,845		
1325国庫短期証券 2025/11/17	12,985,752		
1296国庫短期証券 2025/6/30	11,489,972		
1277国庫短期証券 2025/3/31	10,796,144		
1343国庫短期証券 2026/2/16	4,794,076		
1286国庫短期証券 2025/5/12	3,497,277		
1324国庫短期証券 2025/11/10	2,897,018		
1305国庫短期証券 2025/8/12	2,297,769		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末	
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち88格以下組入比率
	千円	千円	%	%
国債証券	20,800,000	20,780,911	61.1	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当		期		末			
区	分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券		1343	国庫短期証券	%	千円 4,800,000	千円 4,795,829	2026/02/16
		1344	国庫短期証券	—	16,000,000	15,985,081	2026/02/24
合計		2銘柄					
		銘柄数	金 額		20,800,000	20,780,911	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	20,780,911	58.7
コール・ローン等、その他	14,609,573	41.3
投資信託財産総額	35,390,484	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	35,390,484,519円
コール・ローン等	14,609,573,235
公社債(評価額)	20,780,911,284
(B) 負債	1,402,481,300
未払解約金	1,402,481,300
(C) 純資産総額(A－B)	33,988,003,219
元本	33,307,565,574
次期繰越損益金	680,437,645
(D) 受益権総口数	33,307,565,574口
1万口当り基準価額(C／D)	10,204円

* 期首における元本額は23,177,163,591円、当作成期間中における追加設定元本額は50,088,245,959円、同解約元本額は39,957,843,976円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 16,688,116,164円
 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A | 新時代- (為替ヘッジあり) 1,316円
 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A | 新時代- (為替ヘッジなし) 1,316円
 ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円
 ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円
 世界水資源関連株式ファンド 984円
 ダイワ/ "R I C I" コモディティ・ファンド 2,074,249円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 1,595円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 1,428円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 1,772円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 1,270円
 世界セレクトティブ株式オープン 983円
 世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 983円
 iFreeETF NASDAQ100インバース 1,560,811,028円
 iFreeETF NASDAQ100レバレッジ 5,806,034,797円
 iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース 5,083,866,572円
 iFreeETF 米国10年国債先物インバース 263,370,352円
 iFreeETF 英国FTSE100 259,617,276円
 DCダイワ・マネー・ポートフォリオ 3,643,629,488円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 1,851円
 リターンズー 日本円・コース (毎月分配型) 1,805円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 1,763円
 リターンズー 豪ドル・コース (毎月分配型) 1,957円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル 3,666円
 リターンズー ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 984円
 ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワ SMA 専用) 982円
 ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド (毎月分配型) 1,777円
 ブラックストーン・プライベート・クレジット・JPYファンド (毎月分配型) 1,777円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル
 リターンズー 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,204円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	102,466,182円
受取利息	102,466,182
(B) 有価証券売買損益	384
売買益	384
(C) 当期損益金(A + B)	102,466,566
(D) 前期繰越損益金	383,987,511
(E) 解約差損益金	△729,085,419
(F) 追加信託差損益金	923,068,987
(G) 合計(C + D + E + F)	680,437,645
次期繰越損益金(G)	680,437,645

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。